

## 大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

大 学 名	九州大学
整 理 番 号	A-①-7
事 業 名	エネルギー環境理工学グローバル人材育成のための大学院協働教育プログラム - ダブルディグリープログラムの高度化と定着・恒常化 -

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b>S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
(コメント)	<p>本プログラムは、エネルギー環境理工学領域におけるグローバル人材の育成を目的として、九州大学、上海交通大学及び釜山国立大学校の大学間のみならず、福岡-上海-釜山の都市間連携も活用しつつ、大学院協働教育プログラムを推進している。</p> <p>パイロットプログラムでの豊富な実績に基づき、国際化に向けた修士課程ダブル・ディグリープログラムを高度化し、博士課程へのジョイント・ディグリープログラムも視野に入れて展開する意欲的な取組が進んでおり、約 100 名の修了者を輩出しているダブル・ディグリープログラムの成果は特筆に値する。博士課程でのダブル・ディグリープログラムについても具体的に検討が進んでおり、更なるプログラムの発展を目指して着実に進捗している。また、奨学金支援、協力企業、就職支援、同窓会と、入口から出口までの支援体制が整備されている上に、PDCA リーダー委員会によるプロセスチェック体制も充実し、ダブル・ディグリープログラムが定着しつつある点も高く評価できる。さらに、3大学合同で学長が署名するコース修了証明書を授与するなど、参加学生にとっても魅力的なプログラムである。</p> <p>一方で、経済団体や民間企業との奨学金支援を含めた連携については、さらに強化していくことを期待する。また、学生へのアンケート調査を継続的に行うなど、事業の改善と発展に引き続き努めていくことが望まれる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け積極的な事業展開に取り組み、本事業の主眼である、キャンパス・アジア拠点整備事業のリファレンスモデルとして発展されることを期待する。</p>